

「さんべで冬体験！歩くスキー～体験・体験また体験～」

1 趣 旨

- ・冬の三瓶の自然に触れながら、歩くスキー等の体験を通して、三瓶地域の自然や体験活動に興味、関心を持ってもらう。
- ・親子で一緒に活動することにより、親子活動の楽しさを知ってもらう。

2 主 管 国立三瓶青少年交流の家

3 事業の概要

- (1) 期 日
- ① 平成 30 年 1 月 13 日 (土) ～ 1 月 14 日 (日) < 1 泊 2 日 >
 - ② 平成 30 年 2 月 3 日 (土) ～ 2 月 4 日 (日) < 1 泊 2 日 >
 - ③ 平成 30 年 2 月 10 日 (土) ～ 2 月 11 日 (日) < 1 泊 2 日 >
 - ④ 平成 30 年 2 月 17 日 (土) ～ 2 月 18 日 (日) < 1 泊 2 日 >

- (2) 参加者
- ① 80 名 (24 家族) ※募集 100 名
 - ② 105 名 (30 家族)
 - ③ 108 名 (32 家族)
 - ④ 88 名 (26 家族)

(3) 活動日程

	10:30	11:00	12:00	13:00～16:00	17:10	17:30	19:00～20:00	20:00～22:00	22:30
1 日目	入所・受付	オリエンテーション	昼食・休憩	歩くスキー教室 (初級・中級・上級に分かれ、広場で練習をしたり、コースを歩いたりします)	夕飯のつどい	夕食・入浴・休憩	<選択活動> ①天体観察(サヒメル) ②雪灯ろうづくり ③木工キーホルダーづくり ④自主活動(カプラなど)	入浴・休憩	就寝
2 日目	6:30 起床	7:00 朝のつどい	7:20 清掃・朝食	9:30～11:30 <選択活動> ①とことん歩くスキー ②おもいっきりそり遊び ③冬の森たんけん(スノーシュー・かんじき) ④芸術！雪像づくり ※①②は自主活動 ※③④は指導員による活動	11:30 おわりの会	退所後は？ ・三瓶自然館サヒメル見学(割引券あり) ・埋没林公園見学(割引券あり) ・三瓶こもれびの広場木工館で創作活動 ・さんべ温泉(割引券あり) ・世界遺産石見銀山見学 ・早めに帰宅 などなど都合に合わせてプランニング!!			

4 事業の内容

(1) 事業の特色

本事業は、冬の三瓶の特徴である「雪」を使ったプログラムで人気がある「歩くスキー」をメインとし、冬の三瓶の自然や体験活動の楽しさを感じたり、魅力を知ったりするとをねらいとしている。

(2) プログラムデザインと企画のポイント

親子向けの事業であり、様々な発達段階の子供が集まるため、歩くスキー教室については上級・中級・初級選択ができるように設定をした。今回、当日の多忙感軽減のため、事前に難易度の基準を明確にし、申込みの段階で希望の難易度を確認するようにした。また、1グループ20名を限度とし、研修指導員の指導等が行き届くことができるよう調整をした。その他に、選択活動については、当日変更をできるようにし、参加者の当日の体調に考慮することができるようにすることや、他の活動もやってみたいというチャレンジの気持ちに応えることができるようにした。

5 成果と課題

《成 果》

- ・「コース変更がしやすくされていてよかった」「本当にこんなに素晴らしい体験ができるなんて思っておらず感動しました。三瓶のことをもっと知りたいと思いました。」という参加者の声から、大変満足していただけたことが伺えた。1グループの人数が適正であったことや選択活動にすることで自分の希望や実態に合った活動ができたことが満足度につながったと考えられる。

《課 題》

- ・今年度は、全4回歩くスキーができたが、1月の初旬や2月の下旬については、雪があるかどうか定かではないので、次年度開催する場合は1月下旬から2月中旬の範囲内で設定をした方がいい。
- ・100名規模で開催するためには、最低でも5名の研修指導員が必要になるが、5名研修指導員を確保することが難しくなっている。参加者の安全管理及び満足度のことを考えると、規模を縮小して実施したい。



小さな子でも歩くスキーを楽しみました。



親子で協力しながら木工スキーホルダーを作りました。



そり遊びを満喫しました。



動物の足跡や植物の説明を受けながら、スノーシュー、和かんじきをはいて森の探検をしました。



動物の足跡や植物の説明を受けながら、スノーシュー、和かんじきをはいて森の探検をしました。



親子で工夫がみられた雪灯ろうづくりでした。

(担当：事業推進係員 久城 秀太)